

3Dヘッドアップディスプレイ

概要

ヘッドアップディスプレイ上で3D立体視表現が行える3Dヘッドアップディスプレイを開発しました。両眼視差を利用した立体表示によって、従来の2D表示のヘッドアップディスプレイより、視線と注意をより遠方に向けることができます。

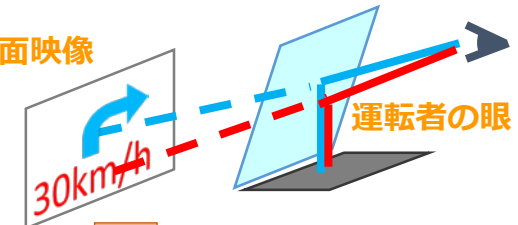
特長

1. 当社裸眼3D液晶技術と光学設計技術を利用することで、ヘッドアップディスプレイ上で3D立体視表現が可能
2. ドライバーから10mを超える位置までの立体視表現を実現
3. 状況に応じて立体視の奥行位置を連続的に変化させることが可能



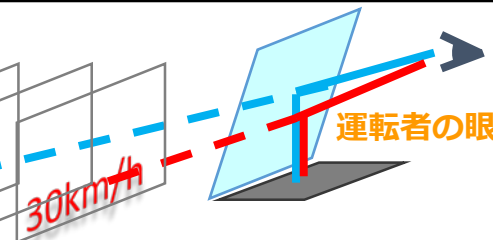
従来品

平面映像



開発品

3D映像



3Dヘッドアップディスプレイ

訴求ポイント

1. 表示情報の種類ごとに表示視認位置を変更可能

表示情報の種類に応じて、様々な奥行位置に映像を認識させることが可能です。例えば、交差点までの残距離情報は運転者から3m前方に固定し、実世界と連携させた情報（例、交差点上に表示する矢印）は、自車と対象までの距離に応じて立体表示位置を連続的に変更する等、運転者にとってより分かりやすい表示を行えます。

※3D映像の表示に関する特許出願中です。

2. 表示視認位置を遠方化可能

当社で視認性についての簡易評価を行い、従来品に比べ、ヘッドアップディスプレイの表示（虚像）注視時に、より視線と注意が遠方化する可能性を見出しました。

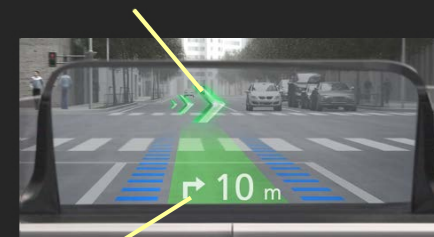
[評価方法]

以下の条件で虚像注視中8m先の液晶に瞬間提示される対象物（スネレン指標）の認識率を調べました。

- 従来品と開発品を比較
- 従来品は平面映像を被験者から3mの位置に表示
- 開発品は3D立体映像が被験者から8mの位置に認識できるように、視差映像を3mの位置に表示

3Dヘッドアップディスプレイのコンテンツ例

自車と対象までの距離に応じて表示位置を変更



3m前方に配置

※図はイメージです

3Dヘッドアップディスプレイの視認性評価結果

